

# ＝ 普 及 情 報 ＝

No. 11

令和6年 3月 29日

西部農林水産振興センター益田農業部

標 題	西部地区肉用牛振興大会を開催！～これからのしまね和牛生産～
-----	-------------------------------

(ダイジェスト)

毎年開催されている西部地区肉用牛振興大会は、西いわみ和牛改良組合・いわみ中央和牛改良組合の生産者を対象とした大きな研修会です。今回はメイン講演として、(株)松永牧場取締役の松永拓磨氏から購買者視点の意見をいただき、参加者は熱心に聴講していました。管内の若手生産者中心に活発な質疑応答、前向きな意見が出て、今後につながる研修会になりました。

昨今、子牛価格の下落や飼料価格の高騰など、畜産を取り巻く情勢は厳しい状況が続いていますが、引き続き「しまね和牛の産地づくり」を推進するため、令和5年度西部地区肉用牛振興大会を開催しました。

今回はメイン講演として、「肥育農家が望む素牛確保と今後のしまね和牛について」と題し、地元の子牛市場で最大の購買者である(株)松永牧場取締役の松永拓磨氏に講演いただきました。

松永氏からは、購買者が求める子牛生産や西部市場の特徴とPRポイントといった地元生産者に対する話題に加え、しまね和牛のブランド定義の見直しや今後の方向性など、和牛生産の方向性をいま一度考えさせられる内容も多くあり、改めて参加者が考えるきっかけとなりました。



また、西部農林水産振興センターでは、生産者ごとの繁殖成績や市場成績をまとめた資料を作成し、今後の子牛生産のために役立てていただきました。このほか、第13回北海道全共をとおして西部地区の畜産がさらに盛り上がるよう、オリジナルのしまね和牛クリアファイルを配布しました。

大会後のアンケートに「教育現場と連携して、担い手確保を推進すべき」「しまね和牛ブランドの方向性を考えるべき」など畜産振興に関する意見のほか「BLV検査を公表して西部市場を活性化させるべき」などとても前向きな意見が書かれていました。

この振興大会を皮切りに、来年度以降は教育現場との連携を目指し、担い手の確保、しまね和牛ブランドの方向性の検討や西部市場の活性化のために生産者を支援していきたいと考えています。